

JR WEST 西労組 UNION ニュース

号外
結成25周年特集
No.3
2016.9.13
JR西労組ホームページ
(http://www.jrw-union.gr.jp)

西日本旅客鉄道労働組合
本部 〇三〇二 大阪市北区西田町一丁目一十八番
TEL 〇六三三 五五九八
FAX 〇六三三 五五九八
JRW 大阪〇七 一七 五五
JR 大阪〇七 一七 五五
●発行責任者／宮 荻 野山 勇 馬朗
●編集責任者／

結成25周年特集（その3）

阪神大震災・米地労と近畿地労との統一

長期債務負担反対闘争（前編）



1995年からの3年間は、阪神淡路大震災の克服、国鉄清算事業団長期債務負担反対闘争、西労から決別した米子地方労働組合・近畿地方労働組合との組織統合など、相次ぐ重要課題への対応を進めた激動の期間でした。また、組織整備が概成したJR西労組の目指す姿を提起した5年間の中期政策提言「2001年ビジョン」も策定されました。

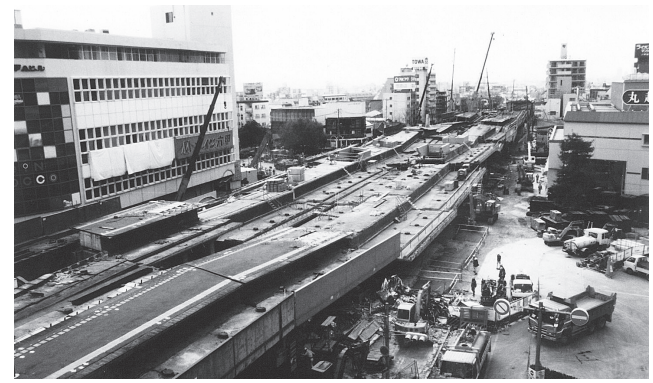
阪神・淡路大震災の発生と 懸命な復旧と組合員支援の取り組み

3連休明けの火曜日にあたる1995年1月17日の早朝5時46分、淡路島の北東を震源地とするマグニチュード7.2、最大震度7という直下型の大地震が阪神間を襲いました。最終的に死者6,400名、10万件以上の家屋が全壊、全焼するという当時では戦後最大の自然災害となりました。

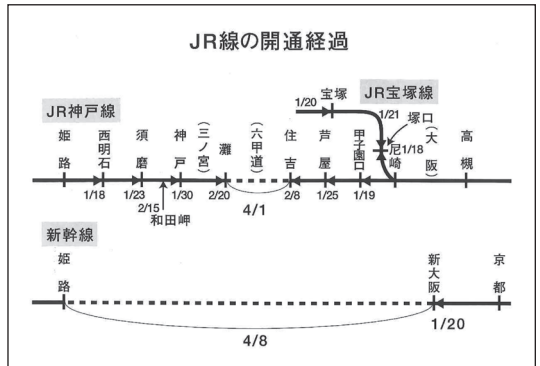
日本はJR神戸線で六甲道駅をはじめ多くの駅舎などが倒壊したほか、山陽新幹線でも高架橋が複数落下するなどして、長期に亘り不通となり、復旧費が1,020億円、減収額は500億円に上る甚大な被害を受けました。

JRW西労組は直ちに「復旧対策本部」を設置のうえ「非常事態宣言」を発信し、春季生活闘争の取り組みを時凍結のうえ、緊急事態対応として会社側からの復旧要請には、労働条件等は事後対応することと条件に、全面協力して復旧に全力をあげることを宣言しました。

また、直ちに被災者の支援活動や救援カンパ活動を開始しました。労使間では、「会社発足以来の最大の経営危機である」との認識を共有し、会社の復旧対策本部の中に労使安全会議を組み込むこととし、全線開通直後まで、復旧工事や代替輸送計画、要員配置等



甚大な被害が発生したJR神戸線



について緊急労使安全会議を通じて協議し、震災対応を進めることとなりました。

JRW西労組組合員の奮闘で早期復旧を果たす！

JRW西労組の組合員は、それぞれの職場において、文字通りの不眠不休、帰宅さえもままならない中、建設工事や工務系統を中心とする復旧作業「毎日ダイヤ改正」といった目まぐるしく変化する状況の下で安全輸送の確保、バスによる代替輸送の対応などに奮闘しました。



各地本が次々と支援行動を開始した

一方、JR西労組の各地本・総支部は、震災直後から組合員の安否や被害状況の確認に始まり、ライフラインの途絶えた職場や組合員宅へ飲料水、食料などを持参するなどの支援行動を開始しました。

また、組合員1人1,000円の救援カンパを実施し、3,600万円を超えるカンパ



「震災復興一時金の支給」と「早期の労働時間短縮」を求め、要求署名簿
八万一千五百六十三名

震災復興一時金の要求署名を会社に手渡す

JRW西労組結成25周年を機に 歴史を振り返り責任ある未来につなげよう！

阪神・淡路大震災の発生、懸命な復旧と組合員支援、組織の統一、そして長期債務負担反対闘争までの歴史【年表】

1995年1月17日 (平成7年)	阪神淡路大震災（死者5千人を超す大惨事） 山陽新幹線、アーバン線区が寸断される
1月18日	第1回緊急労使安全会議を開催
1月19日	緊急声明を発表し、それに伴う非常事態対応を決定
1月20日	第1陣激励隊を派遣
1月24日～25日	第2陣激励隊を派遣
2月5日～6日	統一激励オルグ
2月9日	各労働組合の被災地域地方本部による「安全な輸送体制の早期正常化に向けての共同声明」
2月17日	JRW西労組 第6回中央委員会、春闘方針を決定。
2月26日～27日	統一激励オルグ
3月1日	第1回カンパ対策委員会
3月7日	JRW連合傘下の仲間から届いた救援物資を社宅避難者82名に配付
3月23日	95春闘妥結。ベア3,225円、年間臨給5.25ヶ月
3月27日	カンパ給付作業開始、本部役員が同行し、家族へ直接給付。918件
4月1日	JRW神戸線が74日ぶりに全線開通
4月8日	山陽新幹線が81日ぶりに全線開通
7月11日	大糸線豪雨災害
7月12日～14日	JRW西労組 第6回定期中央本部大会（呉大会） 組合員数35,996名、組織率 77.8%
1996年4月1日 (平成8年)	JRW西労組「10年目の検証」シンポジウム
4月26日	JRW西労組退職者協議会発足
7月17日～19日	JRW西労組 第7回定期中央本部大会（岡山大会） 組合員数36,299名、組織率 80.1%
9月2日	労働時間短縮妥結（年間休日 104日→118日）
2月20日	JRW西日本、株式上場 JRW西労組、JR近畿地労、JR米子地労、共同声明
1997年4月1日 (平成9年)	消費税率改定（3%→5%）に伴う運賃・料金改定 運輸士組織率が過半数を突破
7月16日～18日	【JRW西労組とJR米子地労との統一】 JRW西労組 第8回定期中央本部大会（山中大会） 組合名を「西日本旅客鉄道労働組合」に変更 組合員数363,46名、組織率 81.4% 「2001年ビジョン」策定
8月	JRW西労組「家族支援共済」スタート
10月	日本海新聞「境線廃止記事」に対する抗議活動
1998年2月13日 (平成10年)	【JRW西労組とJR近畿地労との統一】 JRW西労組 第9回臨時中央本部大会
2月17日	第1回「京都駅ビル大階段駆け上がり大会」開催
2月～	国鉄清算事業団長期債務追加負担反対闘争が本格的にスタート
2月19日	JRW連合第1次国会前座り込み闘争
3月11日	JRW連合中央総決起集会



	1995年7月 (第6回大会)	1996年7月 (第7回大会)	1997年7月 (第8回大会)	1998年7月 (第9回大会)
JRW西労組 組合員数	35,996名	36,299名	36,346名	35,869名
組織率	77.8%	80.1%	81.4%	83.3%

このように、会社発足以来の最大の経営危機となった阪神淡路大震災を、JRW西労組組合員の「鉄道員魂」を発揮した懸命な取り組みによって乗り越り、組織面、運動面でも大きな成果や財産を得ることができました。

（裏面へ続く）